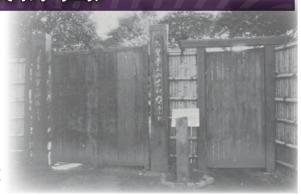
常識門の修復内容 (実施設計図) 令和7年3月 中野区

哲学堂七十七場の1つである「常識門」は、近年の台風で門 扉の一部が剥がれたり、柱の腐朽、垣根の傷み、聯(れん)の 文字が判読できないなど、激しい破損や劣化が見られるため、 全体的に修復を行う。

修復の基本的な方針

修理等の工事履歴の調査から、現在の姿や多くの部材は、建 築当初 (明治 42 ~ 45 年) のオリジナルの状態まで遡る根拠は ないが、少なくとも中野区指定有形文化財に指定された昭和 63 年までは遡ることができる。



中野区立哲学堂公園内古建築調査報告書 (昭和62年度、中野区教育委員会)より

このことを踏まえ、中野区有形文化財に指定された昭和 63 年時点での姿や部材を尊重し、可能な 限り既存の部材を再利用又は部分的に再利用して修復する方針とした。

修復設計図

※一部変更等となる場合があります。

- 主な撤去・新設部材
- ・木部は、原則として木材保護塗料に よる古色塗りを行う。
- 材種はヒノキを主とする。

●控柱

地際と柱頭部が腐朽し ているため、腐朽部分 を継木する。





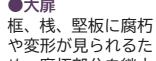






●大扉





や変形が見られるた め、腐朽部分を継木







270 1.824 270

●修理等の工事履歴(資料調査・聞き取り調査等による)

建築年修理年	概要	主な(判明している)修理等の内容
明治 42 ~ 45 年	常識門の建築工事	
昭和 40 ~ 63 年		・西側本柱の交換及び西側本柱の根巻金物の新設 ・西側本柱の根巻コンクリートの新設(もしくは撤去・新設)
(昭和63年)	(区の有形文化財に指定)	
平成3年	ルネッサンス整備工事の一環としての常識門の部分修理工事	・本柱の兜巾包み金物の撤去・新設 ・大扉の角型化粧釘抜け箇所の新設
平成 21 年	小脇扉の部分修理工事	・小脇扉の下部の一部を継木補修
平成 25 年	小脇扉の門柱(小脇柱)取替工事	・小脇柱の基礎ブロックの撤去・新設 ・小脇柱の撤去・新設 ・小脇柱の根巻金物の新設 ・小脇扉の裏面四方角のL型金物補強 ・小脇扉周りの案内板の移設 ・建仁寺垣の復旧

建築年 修理年	概要	主な修理等の内容
不明	西側大扉の部分修理工事	・西側大扉の西側竪框下部
不明	西側大扉の部分修理工事	・西側大扉の西側竪框上部

●聯(れん)

腐朽し、文字が判読できないため、複製を制作する。 (収蔵庫に保管されている現物をもとに 3D スキャナ計 測等を行う)

なお、現在の聯の位置は東西が逆であるため、西側本 柱に「四聖堂前月白風清 戌申之歳」、東側本柱に「「六 『 賢臺上山紫水明 圓了題」を掛けることとする。



●小脇扉

全体的に腐朽が進み、 ゆがみも発生している ため、撤去・新設とし、 樹種はスギ(既存)か ら水に強いヒノキへと 変更する。



●建仁寺垣

腐朽・欠損が著しいた め、全て交換する。

一部、直接土に触れる ことがないように根元 に玉石を据える。



●本柱

地際と上部が腐朽 しているため、腐 朽部分を継木する。

